

家計診断

年金少なそうで将来が不安 失敗しない株式投資の方法は

相談

女性総合職の第一相手でして25年間、男性社員と対等に働いてきました。48歳、独身、いまの仕事はそれなりに重い責任がありますが、やはりもうもどり、あと10年余り、定年まで働きたいと思っています。

最近「ねんきん」定期預金」が差控られてきて思いの

ほか年金額が少なそうと感じ、自分でもしっかりと投資して資産を増やしていかなければと考えています。住居は1昨年に購入して物を買って一括購入し、金融資産は約1千万円です。これは毎月株式投資を始めたいと思っています。絶対失敗したくありません。よい方法を教えてください。

残念ながら未来を正確に見通すことが不可能なので、株式投資で「絶対」失敗しない方法はありません。しかし、「失敗したくない」という相読者の思いに對する

「それは」「株式累積投資」の「1」通簿、株式投資は1株、100株、1千株といった単位で売買し、一度に数十万円、数百万円が必要で、一方、あるいは毎月毎月買った日に、1銘柄1万円以上1千円単位で積み立て投資が可能です。同じ金額を同じ間隔で投資すれば、たまたま投資のタイミングが悪くて大きな損を被るリスクは大幅に軽減されます。

相読者の日常生活の中で、「この機会に」とも「このサー」には便利だ」と思ったり、その商品やサービスを提供している企業が下落しているか確認してみたり、書店に「株」の書籍「など」を年一回ほど購入する

「るいとう」がお勧め ■ 株価水準を知る

「るいとう」がお勧め ■ 株価水準を知る

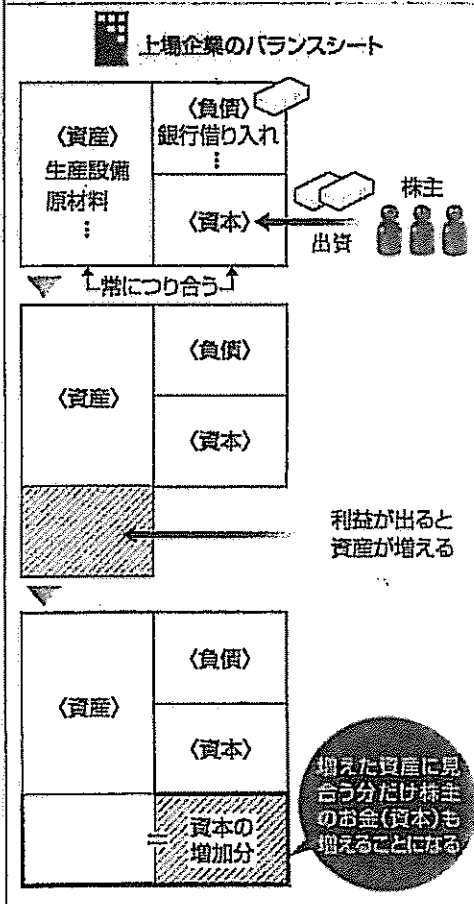
か、ホームページにある「株主・投資家向け情報」「IR情報」にある決算資料で、過去数年間の財務状況をチェックします。

毎年売り上げが減少してたり、頻りに赤字を晒してたりする企業は、投じた資金を増やしてくれそうにないので避けます。逆に年々売り上げが増加し、毎期しっかりと利益を計上している企業なら、まずはここから毎月1万円ずつ投資します。

1年ほどの投資を続けてみると、その企業に関する情報が自然に目や耳に飛び込んできます。業績だけでなく、力を入れている事業や社長の人となりが理解できるよじにもなります。そこでもう一度、この企業について学びたいと思います。

世の中のニーズを的確につかんで、毎期ききんと利益を上げてくれる企業かどうかを見極め、その間隔は毎月、数ヶ月と買い続けま

優秀な企業は株主のお金を増やしてくれる



す。逆に「進つかない」と感じたら投資を中止して、積み立てた株式を売却します。いくらか損をするかもしれないですが、これは総代理と考えて企業を見る目を養います。相読者の時間をかけてゆいゆい1千万円の金融資産に占める株式部分を増やしていきましよう。日々の投資額は毎月の家計の黒字の半分程度、例えば10万円の貯金

が可能な50万円でも銘柄を分散するのはいいでしょう。15年間で900万円の投資となり、最終的な金融資産の構成は株が8割、現金が適切ではないかと思えます。もう1つ大事なポイントがあります。株式市場は、2年前のリーマン・ショックも最近のギリシャ危機のような、個々の企業の業績に関係なく株価が大きく下落する場面があり、そんな時は優良企業でも「連れ安」するものです。下落局面では「もっと下なるので買」と思ってしまう買をなすのですが、数年間をいこうとすれば、も失敗して後悔をします。

「FPAインスティテュート&コンサルティング」ファイナンシャルプランナー 福田 啓太